



地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心の医療
患者の人權と意思を尊重します

診療3本柱
がん・救急・予防医療を中心に医療機能の充実を図ります

完結型医療
地域の医療機関と連携し安心できる医療の展開を行います

地域包括ケア
地域包括ケアシステムを推進し地域のまちづくりに貢献します

社会貢献
災害医療派遣・医療情報公開・医療ボランティアの活動を行います

医療人育成
地域医療に貢献できる医療人の育成を行います

新入看護職員研修『メンタルヘルスケア』



看護部では年2回、メンタルヘルス不調の早期発見や悩みを共有する目的で研修を開催しています。

5月13日(水)今年度の第1回目のメンタルヘルス研修が開催され、「心の健康を保つ方法を知る」と題し、渡邊医師と鶴田公認心理師によるストレスチェックとグループワーク等の講義が行われました。現実と理想のギャップ“できると思っていたことができない”等の同じ悩みをスタッフ同士語ることで、自分だけじゃないと安心したり、上手なストレス解消法の取り入れ方を学んだことで、研修後の顔つきに変化が見られました。指導者の何気ない一言や態度で、落ち込んだり喜んだりしています。新人なりに一生懸命努力している事を承認する声かけをお願いします。現在、ストレスを発散する場所も方法にも制約がありますが、自分にできるストレスコントロールをして過ごしましょう。

受講生の感想

- ・皆も同じような悩みや思いを抱えているのだと分かった。ストレス発散法も皆のものを参考にしていこうと思う。
- ・自分のストレスを自分でコントロールすることも大事だけど、まずはそれに気付くことが重要だと思った。
- ・同期の皆が何をしていたか知ることができて嬉しかったし、少し楽になりました。
- ・皆が悩んでいる時は声をかけていきたいと思う。
- ・ストレスに対しての向き合い方等を知る。また自分の対処法に工夫をすることができる。そんな機会になったのではないかと思います。

看護師 中村 千春

2021 年度 初期臨床研修医募集

当院は、鹿児島県・宮崎県に近い熊本県南に位置している地域の急性期病院であり、救急・がん・予防医療を3本柱に診療をおこなっている地域の中核病院です。

特に救急医療では、この地域の殆どの救急患者の受け入れを行い、幅広い分野の症例を経験できます。がん診療においては、地域がん診療連携拠点病院として、集学的医療をはじめ予防医療から終末期医療までの様々な経験ができます。また研修協力施設と綿密な連携をすることにより地域に密着した研修を受けることができます。この研修2年間で医師としての適性と将来の選択肢を考えることが可能です。

人吉球磨で医師としての第一歩を踏み出してみませんか。

実践的な研修で将来の医師としての選択肢が広がります。

応募締切日：令和2年7月末日

選考方法：書類審査、面接

(面接日は書類審査後に調整させていただきます)

マッチング利用：あり

★詳細はこちらをご覧ください

<https://hitoyoshi.jcho.go.jp/> 臨床研修医 /

【病院見学受付中！】

実際の診療現場を見学したり、研修医の生の声が聞けるなど、人吉医療センターの‘今’を知ることができます。

ご希望の方は上記ホームページから申込書をダウンロードして、メールまたはFAXにて送信してください。



2020 年度 医師臨床研修マッチングスケジュール

手続き等	日時 ※いずれも午後2時です	対象者
参加登録開始	6月11日(木)	参加者・病院
参加登録締切	8月6日(木)	参加者・病院
希望順位 登録受付開始	9月10日(木)	参加者・病院
希望順位 登録中間公表前締切	9月24日(木)	参加者
中間公表	9月25日(金)	参加者・病院
希望順位 登録最終締切	10月8日(木)	参加者・病院
組み合わせ結果発表	10月22日(木)	参加者・病院

【お問い合わせ先】 担当：事務部 総務企画課 花牟禮

TEL：0966-22-2191(代) FAX：0966-24-2116

e-mail：main@hitoyoshi.jcho.go.jp

地域医療実習（Web インタビュー）実施

5月26日 熊本大学の学生さんと地域医療実習 Web インタビューを実施しました。本来なら3週間当院での実習予定でしたが、コロナ禍のため来院ができませんでした。今回の実習が‘初めての人吉’という方も多く、お越し頂けないのはとても残念でした。

当初は総合診療科の田浦医師との電話インタビューの予定でしたが、せっかくなら顔をみながらできる Web インタビューを、と急遽変更しました。その甲斐あって、学生さんからの質問にスライドを使いながらのわかり易い回答ができ、有意義な実習になりました。



くまもとメディカルネットワーク登録者 10,000 名突破

当院は昨年4月からくまもとメディカルネットワークの参加登録を積極的に推進していますが、6月22日当院の登録者が10,000名を超えました。現在、熊本県全体で約36,000名の方が参加者カードをお持ちですが、その内3割近い方が当院を登録していただいていることになります。

くまもとメディカルネットワークは、病院・診療所・歯科診療所・薬局・訪問看護ステーション・介護施設事業所・地域包括支援センターをネットワークで結び、患者さんの診療に必要な情報（受診歴、病歴、検査結果、処方内容、検査情報など）を患者さんが希望した施設間で共有することで、より良い診療に役に立てるシステムです。現在、人吉球磨では82施設の利用登録があります。

本ネットワークは通常の診療だけでなく、新型コロナウイルス感染症対策にも利用が可能です。例えば、患者さん

の了解があれば熊本大学病院などの専門の先生に遠隔でコンサルトすることが可能ですし、文章送受信機能を使えば紹介状やCD-Rなど持参すること無く受診が可能になり、二次感染防止にとっても有効です。

今後、本ネットワークの地域での活用だけでなく、第2波、第3波を見据えた活用が求められています。住民の方につきましては参加登録を、医療機関、福祉機関、行政につきましては参加・活用を、今後ともよろしく願いいたします。

医療福祉連携室 山田 一裕



心臓マッサージ装置 LUCAS3 を新しく導入しました

当院では救急センターに心臓マッサージ装置を設置しています。

今回、新たにLUCAS3を導入しました。特徴は、安定した深さと頻度の絶え間ない胸骨圧迫心臓マッサージによって、自己心拍再開に繋がる効果的なCPRをサポートする為に設計されており、耐久性が高く軽量の持ち運びも容易で、院内外の様々な場所で発生する蘇生活動に適した装置です。

また、カテテル室で突然心停止が発症した際、術者とスタッフの被曝リスクを最小限に保ちながら不安定になりがちなカテ台の上でもガイドラインに従った効果的且つ絶え間ない心臓マッサージを提供することが可能です。装置の上部(フード)とピストン部分を除いて、X線透過性が高く、動作中でもPCI時に必要となる視野を確保することができます。

小型で軽量の高性能リチウムポリマーバッテリーを主たる駆動源にしており、バッテリーは簡単に交換が可能で、バッ

テリのみでも約45分間の運用が、更にACやDCの外部電源を接続し、バッテリーを充電しながら長時間の連続運転が可能です。自動車のシガーライターソケットに接続するDC接続ケーブルを使えば、質の高い胸骨圧迫を維持しながら長時間の搬送も可能で、病院へ到着すればケーブルを抜くだけで、そのまま胸骨圧迫を止めることなく救急外来への搬送もスムーズに行えます。(バッグに収納された状態での充電や充電状態の確認も可能)

その他データ蓄積機能とBluetoothを用いたデータ転送機能を追加されており、データを元にしたブリーフィングやディブリーフィングを行うこともできます。



医療福祉連携室 宮原 由佳

AABR ～新生児聴力検査紹介～

AABR検査とは新生児の聴力検査です。脳波の誘発電位であるABR（聴性脳幹反応）を利用して、自動的に判定を行います。両耳同時にスクリーニングすることができ、短時間で聴覚異常を発見します。これまでOAE（耳音響放射）検査を利用していましたが、今回導入したAABR検査は疑陽性率が少なく、技師間差もないため、より精度の高い検査を実現できています。

当院では、在胎週数34週以上からの新生児を対象としています。判定基準は35dBに設定され、「passパス（反応あり）」あるいは「refer要再検（反応なし）」で結果が表示されます。「要再検」の場合はさらに高い音圧の刺激による反応閾値についても調べることができます。

この検査は保険適用外となっています。しかし、聴覚障害の早期発見と適切な治療・支援につながり、言語の遅れを最小限にすることができる大事な検査です。

臨床検査部 切畑 陽菜



がんの治療と就労の両立支援 ～がん相談支援センターの役割～

厚生労働省は「がん対策推進基本計画」のなかで、がん患者の就労を含めた社会的な問題を課題として取り上げ、がん患者の就労に関する総合支援事業を開始しました。

その背景として、国立がん研究センターがん対策情報センターによれば、がん罹患患者数の約3割の方が就労可能な年齢(20歳から64歳)で罹患しています。またがん医療の進歩によって、生存率は年々上昇しており、長くつきあう病気になってきているため、就労世代にある患者さんは治療と就労の両立が必要となっています。さらにがん治療が、入院治療から外来治療へと移行しているため、患者さんの就労を支援していくことが社会にも求められています。

そこで、医療機関と企業と支援機関(社会保険労務士、産業カウンセラー、キャリアコンサルタント等)、医療機関とハローワークとの連携により長期療養者に対する支援が求められています。

全国のがん拠点病院に設置されているがん相談支援センターの業務の中には、患者・家族・地域住民・医療機関等との連携や療養生活に関する相談等と共に、就労に関する相談支援を行うこととされています。具体的には他職種と情報を共有しながら患者さんの受診の調整、就労に対する不安や休職・退職に対する相談業務、仕事の詳細や考え方・価値観の確認などを行い、必要時は企業に対して診断書や意見書を作成し、治療スケジュールの情報提供や休業・復



職支援を行います。また、ハローワークと連携しながら再就職の支援を行っています。

当院でも相談支援センター、患者サポートセンターを設置しています。お困りごとがありましたらいつでもお気軽にご相談ください。

人吉医療センター

相談支援センター・患者サポートセンター

Tel : 0966-22-2191 (内線 240)

入院患者さんの面会制限について

面会制限レベル2へ(6月末現在)

ご周知の通り、熊本県は6月19日に国の基本的対処方針に基づいて県をまたぐ移動を自由としました。当院でも、熊本県感染症発生動向調査還元情報を参考に、病棟面会制限レベルをレベル3からレベル2へ変更しています。面会時にはこれまで同様、面会者の健康チェックを行うとともに、ナースステーション前カウンターで名簿の記載、検温

を追加で行い、さらに面会時間・面会人数の制限を行っています。また、平時より大勢での面会や小学生以下のお子様の面会にご遠慮頂いています。

今後も熊本県リスクレベルによる評価や、社会情勢の動向を鑑み、面会制限レベルの変更を行いますので、来院時には受付前掲示板またはお電話等でご確認お願い致します。

面会制限

レベル2：ご家族のみ面会できます

- 面会は、**30分以内**でお願いします。
- 入院患者さんお一人につき、1日1組原則2名まで**とさせていただきます。
- 体温37.5度以上の方の面会はできません。
- 「**面会許可書**」をご記入ください。

今後の感染発生状況により変更する場合があります。皆様のご理解ご協力をお願いします。

JCHO人吉医療センター 院長

病棟面会制限レベル表示

感染レベル表示は、熊本県感染症発生動向調査還元情報を参考に設定しております。大勢の方での面会や小学生以下のお子様の面会にご遠慮ください。発熱、下痢、吐気のある方の面会にご遠慮ください。

レベル	面会について	面会条件	設定
レベル0	面会制限なし	・面会前後の手洗い・手の消毒をお願いします。	・伝播するような感染症の流行が世間でみられていない。
レベル1	面会制限なし	・面会時のマスク着用と、面会前後の手洗い・手の消毒をお願いします。 ・面会時は、居室ではなくテイルームをご利用ください。	・伝播するような感染症の発生が県内で確認されている。 ・感染に関する【 注意報 】がでている。 ・インフルエンザの流行期(11月～翌3月)
レベル2	家族の方のみ面会できる	・面会時のマスク着用と、面会前後の手洗い・手の消毒をお願いします。	・伝播するような感染症が県内で確認され増加している。 ・感染に関する【 警戒 】がでている。 ・感染防止対策の強化が必要と病院が判断した。
レベル3	面会禁止	・特別な場合(入退院時、付き添い、病院からの来院指示等)には、職員の手配に従って入室してください。	・感染対策上、面会禁止を病院が必要と判断した。

HMC 感染対策管理委員会

7月「愛の血液助け合い運動」です。 ～献血へ行ってみませんか!?～

厚生労働省、都道府県、日本赤十字社は、毎年7月（7月1日～31日までの1ヶ月間）に我が国の血液事業を安定的・継続的に持続し、血液製剤の国内自給を確保するために、全国で「愛の血液助け合い運動」を展開されています。

しかし、今年は新型コロナウイルス感染拡大以降、献血にご協力をいただける方が減少している状況です。緊急事態宣言が解除され、県をまたぐ移動も可能となり少しずつ以前の日常を取り戻しつつある今、病気やけがで輸血を必要とする方々のために、安全な血液製剤を届けることができるように皆さん献血へ行ってみませんか!?

献血バス運行の予定については、熊本県赤十字血液センターのホームページ (<https://www.bs.jrc.or.jp/bc9/kumamoto/index.html>) をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

当社では従来より、感染対策を行っていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、さらに徹底した対策を行い、安全な献血活動の再開に取り組んでいます。

【献血者の健康チェックを徹底しています。】

※ 日々の実施している健康チェックに加えて、出勤前・出勤時に体温測定を実施しています。

【献血者の手指消毒を徹底しています。】

※ 献血者の出勤時、献血会場入館時、献血受付時、問診時、献血カード更新時、

献血終了後には手洗いや手指消毒を徹底しています。

【献血会場の良好な衛生環境を維持しています。】

※ 献血会場にて使用する器具は日々、消毒薬を用いて清掃しています。

※ 献血会場の入口で体温測定をするなど、良好な衛生環境に配慮した会場設置をしています。

【皆様へのお願い】

（引き続きお願いいたします。）

※ 献血会場では入口に備えている消毒薬にて手指消毒をお願いしています。

※ 入館に際して体温測定を実施しています。

※ 献血会場に設置された防疫については献血会場への入場を徹底お願いいたします。

※ 必ず、マスクの着用をお願いしています。

新型コロナウイルス感染症の拡大下でも、毎日約3,000人の献血者さんが献血を必要としています。

命を救うために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



日本赤十字社より引用

飲食店を応援します

新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、当院にもたくさんのご支援を頂きありがとうございます。緊急事態宣言の解除後、徐々に元の日常生活へ戻りつつありますが、全国では飲食店や事業者の皆さまを応援するプロジェクトが全国各地で行われています。人吉球磨でもその支援の輪が広がっていますので、その取り組みの一部を今紹介したいと思います。

人吉球磨で宅飲みを楽しむための情報サイトとして『TAKUNOMI STYLE』があります。ここでは、登録されている飲食店のテイクアウトメニューや店舗情報を検索することが出来ます。私も実際に利用し、おつまみをテイクアウトしたり、ランチにお弁当をテイクアウトしお店の味を堪能しました。その他にも人吉温泉観光協会のホームページでは『テイクアウト人吉』というサイトや、Facebookでは『飲食店を勝手に応援しよう in 人吉球磨』というグループも作られています。また、『タクシーーツ』というお料理のデリバリー代行サービスもあるので始まっています。この機会に人吉球磨の気になるお店を見つけて、おいしいお料理を堪能しながらお家時間を過ごしてみたいはいかがでしょうか。

連携施設 探訪

当院では、みなさんが住み慣れた地域で安心して生活していただけるよう、人吉・球磨地域の医療・福祉機関と連携して地域包括ケアを推進していきたいと考えています。そこで、地域の社会資源を周知していただくため、連携施設をご紹介します。

今回は、「きのえ田中苑」（熊本県球磨郡錦町木上西 143-1）さんです。

きのえ田中苑 Vol.36

【施設の特徴】

当施設は、既存の一般病床・療養病床より転換した医療機関併設型の小規模介護老人保健施設です。入所定員は18人、通所リハビリは定員15人で運営しています。療養強化型老健として、やや医療依存度の高い方にも対応しています。また、食事も出来るだけ地産地消にこだわり利用者の趣向に合わせて施設内で調理したものを提供し、これからも地元で根づいた小回りの利く施設を目指しています。人吉医療センターには開設当時より協力病院として何かとお世話になり感謝しています。これからも宜しくお願いします。（看取り：無）

【サービスの内容】

登介護療養強化型老人保健施設（利用定員18人、要介護1～5）
通所リハビリテーション事業（利用定員15人、要支援1～要介護5）
介護予防通所リハビリテーション（要支援1、2）

【地域の皆様に一言】

先々代が昭和3年に当地に有床診療所として開業し、その後先代が継承、平成9年、先代の没後、現在の院長が継承し、平成12年の介護保険導入時に医院の全面建て替えを行い、現在の田中医院と介護保健施設（きのえ田中苑）併設となりました。今までの地域の皆様の御恩に感謝し、これからもお役に立てるように努力していきます。



【お問い合わせ】

TEL:0966-38-0061, 38-0078

FAX:0966-38-3306

介護支援専門員（支援相談員）

園田 真寿美

介護支援専門員 中華 晴美



【訪問者の感想】

きのえ田中苑さんは、医院の病床を老人保健施設に移行されているのもあり、医療依存度の高い方（HOT、経管栄養、ストーマ、膀胱カテーテルなどを使用されている方）の受け入れも可能で、田中医院さんの2階に位置します。1階では、田中先生（医師）が外来診察をされており、入居されている方の体調の変化があってもすぐ駆けつけて対応できるため、安心・安全に入居できる施設と感じました。

総合診療科合同カンファレンス開催

6月2日から毎週水曜日に総合診療科のカンファレンス・回診を開始しました。

医師・看護師・社会福祉士など多職種合同で行っています。多職種での関わりを一同に情報共有できるとともに多方面からの視点でディスカッションを行うことができました。また、専攻医の先生の発表や初期臨床研修医の先生、診療看護師の研鑽の場ともなります。指導医の先生方からは、鑑別診断方法などポイントを教わり一つ一つの症例を大切に共有しながら今後の診療に活かされています。



～地域協力会 園芸部の活動紹介～

地域協力会は、当院が地域と共に充実し発展することを目的として、近隣町内を中心とした住民で構成されています。活動内容としては、緊急時の入院患者の避難協力、防災訓練への参加、当院周辺の美化および花壇の植栽、当院が実施する各種事業への協力など様々です。

今回、地域協力会の園芸部により、病院第2駐車場前の花壇に色とりどりのきれいな花を植え替えていただきました。

今年5月まではきれいに手入れされたパンジーが咲いていましたが、6月に入るとマリーゴールド、千日紅、日々草、サルビア、トレニア等々かわいらしい花々が咲き誇っています。地域協力会員の方には植え替え後も毎日の朝夕の水やり、そして草むしりなどもしていただいています。

見事な花壇に心ませる方も多いと思います。ご来院いただいた際には是非ご覧ください。



新 任 紹 介

新刊紹介

コミュニケーションと倫理のハイパリュウケア（日本の高価値医療シリーズ6）

ISBN：978-4-904865-51-4

2020年5月7日 229ページ

著者：本村 和久

発行：カイ書林

定価：3,000円＋税



この度刊行されました「日本の高価値医療シリーズ6：コミュニケーションと倫理のハイパリュウケア」に、全国の総合診療科の先生方とともに当院総合診療科の田浦医師が執筆されていますので、ご紹介いたします。



なかもと あやこ（歯科口腔外科・看護師）

趣味：ピアノ、バイク（最近、着物や和裁に興味があります）

自分の性格：おだやかな性格だと思います

自分のコマーシャル：一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします



うちぶち やすたか（5階病棟・療養介助員）

趣味：今更ながら「鬼滅の刃」をみること

特技：円周率を中途半端に覚えていること

生活信条：1日の最後は笑顔で終わる（笑える動画などを見て無理にでも）

自分の性格：前のめり気味のポジティブ

自分のコマーシャル：未経験の職種ですが、1日でも早く戦力になれるように頑張ります